

◇ 国内外の巨匠
版画や書展示

国内外の一流作家の作品を集めた「現代国際巨匠絵画展」(西都市身体障がい者福祉協会主催)は11日、同市・ウエテ



イングパレス敷島で始まった
写真。入場無料。13日まで。

障害がある人だけでなく、市民が広く交流できる場をつくろうと企画。ピカソやシャガール、平山郁夫の版画作品や「今年の漢字」の揮毫(きごう)で知られる京都・清水寺の森清範貫主(かんす)、ダウン症の書家・金澤翔子さんの書など計約300点が展示される。

開催期間中は静岡県藤枝市の画家・山本宗平さんのサイン会も実施。会場の作品は購入可能で、売り上げの一部は熊本地震復興や同協会の活動支援に充てられる。

同協会の新田勝義会長は「障害の有無に関係なく、多くの人に鑑賞してもらえれば」と話している。